

市議会だより おおむら

2023
8月号

今回の定例会は



No.300号

Contents

- 5月臨時会 … P2
- 6月定例会 … P4
- 賛否が分かれた議案 … P6
- 政務活動費 … P7
- 市政一般質問 … P8
- 大村市議会NEWS … P20



Topic

5月臨時会 正副議長、監査委員、常任委員会のメンバーが決定

- 6月定例会 令和5年度一般会計補正予算など39議案を可決（承認・同意）
- 市政一般質問 21名の議員が登壇し、不登校の児童・生徒の現状や支援などについて議論

大村市議会の

新しい体制が決まりました

5月15日に臨時会が開催され、正副議長、監査委員を選出したほか、常任委員会や議会運営委員会など各種委員会の委員構成を決定するとともに、「正副委員長を選出しました。また、6月定例会において、3つの特別委員会を設置しました。」



議長 城 幸太郎

議長就任ごあいさつ

市民の皆さま方には、日頃より市議会に対してご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。
このたび、令和5年5月臨時会におきまして第40代大村市議会議長に就任いたしました。

大村市にとって、昨年は「市制施行80周年」、「ポートレース大村開設70周年」、「西九州新幹線開業」と、ある意味ゴールといえるメモリアルな年でした。

今年は「新大村駅前開発」、「新庁舎建設」、「庁舎跡地等の活用検討」とまちづくりにおいて、20年、30年先の将来を見据えた「新たなスタートの年」となります。

しかし、その矢先の市議会議員選挙の投票率が歴代最低の48.04%だったことは地方議会に身を置く者として深く反省しなければいけないと思っています。

議会、議員が何をやっているのか分からないといった市民のマイナスイメージを払拭し、議会、議員を身近に感じていただき、関心を持っていただけるよう情報の発信不足や発信力の脆弱さを改善していく必要があると考え、議会DXに取り組んでいきたいと考えます。

市民の皆さま、行政、そして議会、それぞれの力を集結して住み心地のよいまちづくりに取り組んでまいります。

今後とも皆さまのご理解、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大村市議会議長 城 幸太郎

副議長 田中 博文



監査委員 小林 史政



議会運営委員会

★議会が円滑に運営されるよう協議を行うとともに、議会活性化のための中心的な役割を担います。

委員長 中崎 秀紀

副委員長 竹森 学

委員 堀内 学、村崎 浩史、永尾 高宣、里脇 清隆、朝長 英美、村上 秀明

特別委員会

大学等誘致調査特別委員会

★大学等誘致の現状と課題について調査・研究を行います。

委員長 晦日 房和

副委員長 久保 和幸

委員

高見 龍也、中村 仁飛、入江 詩子、田中 秀和、永尾 高宣、村上 秀明

公共施設整備調査特別委員会

★今後の本市の公共施設整備について調査・研究を行います。

委員長 堀内 学

副委員長 竹森 学

委員

南波 伸孝、中崎 秀紀、水上 享、小林 史政、松尾 祥秀、古閑森 秀幸、里脇 清隆

議会活性化特別委員会

★議会基本条例を検証するとともに、より市民に開かれた議会の在り方について調査・検討を行います。

委員長 高濱 広司

副委員長 永山 真美

委員

光山 千絵、村崎 浩史、田中 博文、山口 弘宣、朝長 英美

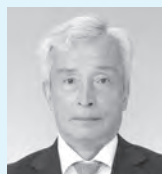
総務委員会

所 管

- ・企画政策部
- ・総務部
- ・財政部
- ・市民環境部
- ・ポートレース企業局
- ・厚生文教委員会および経済建設委員会の所管に属しない事項



委員長
光山 千絵



副委員長
晦日 房和



委員
高濱 広司



委員
村崎 浩史



委員
竹森 学



委員
古閑森 秀幸



委員
里脇 清隆



委員
朝長 英美

厚生文教委員会

所 管

- ・福祉保健部
- ・こども未来部
- ・教育委員会



委員長
山口 弘宣



副委員長
堀内 学



委員
高見 龍也



委員
中村 仁飛



委員
南波 伸孝



委員
入江 詩子



委員
永山 真美



委員
田中 秀和

経済建設委員会

所 管

- ・産業振興部
- ・都市整備部
- ・農業委員会
- ・上下水道局



委員長
松尾 祥秀



副委員長
久保 和幸



委員
中崎 秀紀



委員
水上 享



委員
小林 史政



委員
田中 博文



委員
永尾 高宣



委員
村上 秀明

一般会計予算決算委員会

所管：一般会計の予算および決算に関する事項

委員長 村上 秀明

副委員長 高濱 広司

委員 全議員



6月
定例会

▼令和5年度の補正予算のほか、条例改正、農業委員会委員の任命についてなど39議案を可決（承認・同意）しました。

補正予算

マイナンバーカードを活用し、全市民参加型の「しあわせ循環コミュニティ」の実現に向け、各種サービスを提供します

約8億1,168万円を増額する令和5年度大村市一般会計補正予算（第3号）など4件の補正予算を可決しました。

一般会計の予算および決算に関する事項については、今定例会から新たに一般会計予算決算委員会を設置し、審査を行いました。なお、総務、厚生文教、経済建設の各常任委員会の所管に応じて分科会を設置し、担当課ごとに詳細な審査を行っています。分科会での主な審査内容は、次のとおりです。

総務分科会

*しあわせ循環コミュニティ事業

〔概要〕

デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、全市民参加型のしあわせ循環コミュニティの実現に向け、「地域共助事業」や「子育て支援事

業」、これら2つの事業が提供するサービスを支える「デジタルインフラ整備事業」に取り組むもの。

〔審査内容〕

Q マイナンバーカードを巡っては先般、全国では誤った情報がひもづけられるなどの事案が報道されており、市民のマイナンバーカードに対する不感から本事業の利用も進まないのではないか。

A 本市におけるマイナンバーカードの申請率は、5月28日時点で、91.75パーセント、交付率は80.86パーセントという状況である。また、現在のところ、マイナンバーカード関連の本市窓口での手続きに関して、誤った手続きやひもづけ等は発生していない。

*大学等誘致推進事業

〔概要〕

本市における大学等の誘致に関する調査・検討を行うもの。

〔審査内容〕

Q これだけの大きな事業が当初予算ではなく、なぜ補正予算で計上されることとなったのか。

A 令和5年3月30日に商工会議所から提出された大学等の誘致に関

条例

新たな評価手法に係る手数料を設定します

する提言書を受け、検討を行ったところ、現在、本市に興味を示している大学等は複数あり、提言書にあつたように、協議会を設置し、広くご意見をお聞きするとともに、本市に合った大学像などの調査を行い、市としての大学等誘致に対する考えを整理したいと考えた。

厚生文教分科会

*安全装置設置事業補助金

〔概要〕

放課後児童クラブに対し、児童の置き去り防止を目的として、送迎用車両への安全装置の設置費用を助成するもの。

〔審査内容〕

Q 今回助成対象となる安全装置は、「降車時確認方式」と「自動検知方式」の二種類あるとのことだが、安全装置の選択は各放課後児童クラブの判断となるのか。

A 基本的には、各クラブの判断において、国が示したリストの中から選択してもらうこととなるが、選択する際には市からアドバイスすることを考えている。

議決

放虎原小学校建て替えに伴う仮設校舎への給水方式を見直します

工事請負契約の変更についてなど、5件の議決議案を可決しました。委員会での主な審査内容は、次のとおりです。

厚生文教委員会

*工事請負契約の変更について

〔概要〕

当初、給水管から直接給水する予定だったが、現地の給水管の口径が想定より小さく、必要な水圧の確保が困難となり、受水槽を設置しポンプで給水する方式へ変更するため、契約金額を増額するもの。

〔審査内容〕

Q 受水槽を設置する給水方式以外の手段は検討したのか。

A 当初想定していた口径の給水管を新設する場合、設計から工事に4カ月程度を要する。現在、令和5年7月に仮設校舎の引き渡しを受け、引越等々の作業を経て8月9日の登校日に児童を迎え入れる計画であり、給水管を新たに敷設する工程はスケジュール的に極めて難しい。費用面では、受水槽を設置する方式が、給水管を新たに敷設する場合よりも

費用を要すると試算しているが、今回は工期等の観点から検討した結果、受水槽を設置する方式を採用することとした。

陳情

3件の陳情書が提出され、所管の常任委員会で検討し協議を行いました。

●国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情

●全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情

●教育環境整備及び通学路に関する陳情

決議

2件の決議が議会運営委員会から提出され、全会一致で可決しました。

●暴力追放に関する決議

市民、警察、行政等との連携を図り、暴力追放に全力を挙げて取り組んでいくことを決議しました。

●飲酒運転根絶に関する決議

市民と一体となった飲酒運転の根絶、交通事故のない明るい社会づくりに努めていくことを決議しました。



●賛否が分かれた議案と審議結果

※賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

議案番号	件 名	議決結果
第 39 号議案	工事請負契約の変更について	原案可決
第 45 号議案	令和 5 年度大村市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決

●議員別賛否一覧表（○は賛成 ×は反対 城幸太郎議長は採決に加わらない）

会派名	進風おおむら					みらいの風					誠和会			知音会		公明党	無会派				田中	城					
議員名	高見	久保	高濱	堀内	中崎	村崎	南波	光山	晦日	松尾	朝長	村上	田中	小林	山口	里脇	古閑森	永尾	竹森	中村	入江	永山	水上	博文(副議長)	幸太郎(議長)	賛成	反対
議案番号	龍也	和幸	広司	学	秀紀	浩史	伸孝	千絵	房和	祥秀	英美	秀明	秀和	史政	弘宣	清隆	秀幸	高宣	学	仁飛	詩子	真美	享				
第39号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		23	1
第45号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		23	1

他の議会からの行政視察受け入れ一覧

大村市議会では、本市の特色ある事業や取り組みについて、全国各地の議会からの行政視察の受け入れを行っています。1月から6月までの受け入れ状況は、下記のとおりです。（令和5年6月30日現在）

月 日	議会名	委員会・会派名	人数	内 容
1月11日	愛媛県大洲市議会	志友会	7人	市民と議会のつどい「語ってみゅーか」について
1月12日	兵庫県尼崎市議会	経済環境企業委員会	8人	産業支援センター（O-biz）について
1月24日	滋賀県草津市議会	草政会	14人	大村市における中小企業支援と産業支援センターO-bizの役割について
1月26日	神奈川県座間市議会	ざま大志会	4人	こども未来館「おもむらんど」について
2月1日	沖縄県宜野湾市議会	絆輝クラブ	6人	防災について まちなか再生、空き店舗活用事業について
2月7日	栃木県佐野市議会	政友みらい	7人	消化ガス発電事業について
2月15日	東京都三鷹市議会	日本共産党三鷹市議会議員団	4人	新大村駅周辺の整備・まちづくりについて
5月16日	山形県鶴岡市議会	市民文教常任委員会	7人	県・市一体複合型図書館について
5月24日	茨城県ひたちなか市議会	文教福祉委員会	9人	ミライon図書館について

●政務活動費執行状況を公開します

政務活動費は、地方自治法ならびに大村市議会政務活動費の交付に関する条例の規定に基づき、議員の調査研究、活動の充実を図るため、必要な経費の一部として交付しています。議会の会派に対して交付されており、交付額は、会派の所属議員1人当たり月額2万5,000円です。

■令和4年度 政務活動費執行状況

会派名	みらいの風	進風おおむら	大政クラブ	明青会	知音会	公明党	真政会	日本共産党	ミウラ	合 計
所属 議員数	7人	5人	3人	2人	2人	2人	2人	1人	1人	25人
交付額 (A)	2,100,000円	1,500,000円	900,000円	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円	300,000円	300,000円	7,500,000円
支出 合計(B)	652,260円	970,190円	868,951円	585,644円	481,477円	287,816円	600,000円	9,009円	153,400円	4,608,747円
内 訳	調 査 研究費	652,260円	947,430円	853,346円	468,576円	481,477円	185,240円	498,987円	153,400円	4,240,716円
	研修費		10,220円	15,605円			92,613円			118,438円
	広報費									0円
	広聴費							9,009円		9,009円
	要請・ 陳 情 活動費									0円
	会議費									0円
	資 料 作成費				117,068円	60,090円				177,158円
	資 料 購入費		12,540円			42,486円	8,400円			63,426円
差引き (返還額) (A)-(B)	1,447,740円	529,810円	31,049円	14,356円	118,523円	312,184円	0円	290,991円	146,600円	2,891,253円

■使途基準

調査研究費	市の事務、地方行財政等に関する調査研究（現地調査を含む）または調査委託に要する経費
研修費	研修会の開催、団体等が開催する研修会への参加に要する経費
広報費	会派活動または市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	会派の活動や市政に対する住民からの要望・意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	会派の要請活動または陳情活動に要する経費
会議費	各種会議の開催、または団体等が開催する意見交換会等各種会議への参加に要する経費
資料作成費	会派の活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派の活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

※市議会ホームページで、政務活動費執行状況を公開しています。また、収支報告書および領収書等の証拠書類の写しについては、議会事務局で閲覧することができます

防犯・防災

指定避難所の開設の 判断基準はいかに



梅日 房和 議員

市内の指定避難所は52カ所ある。避難所開設の判断は災害警戒本部や災害対策本部で協議を行い、開設すると聞くと、両本部は市の職員だけで構成されるのか、消防署など外部の専門家も入っているのか。雨量・土壌雨量指数・線状降水帯など予測できる専門家がいる上での協議が必要と考えるが、現在の在り方について問う。

答

災害警戒本部については、市職員のみとなるが、県央振興局、消防署、警察署、自衛隊、消防団とも情報交換を行いながら対応に当たっている。一方、災害対策本部には、消防署、消防団が本部に入り、警察、自衛隊からの情報連絡員が配置される。また、大雨や台風の影響が予想される場合は、長崎地方気象台から県内市町に対してウェブによる説明会が行われているため、指定避難所開設の参考にしている。



市政 一般質問

6月定例会では、21名の議員が質問を行いました。主な内容をご紹介します。

(QRコードから各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。)

● 索 引 ●

防犯・防災 …… P8	教育・文化・スポーツ … P11~13
生活・環境 …… P8	都市整備 …… P13~15
福祉・医療・保健 … P9~10	行財政・一般 …… P15~18
産業・経済・労働 … P10~11	

生活・環境

地域のコミュニティー について



田中 秀和 議員

町内会加入率の低下は、市政運営にとって根幹を揺るがす由々しき問題であり、市が抱える重大な課題の一つだと考える。現在、実施されている行政支援はどのようなものがあるのか。また、町内会費額の最高と最小、さらに、加入世帯の最多と最小の数を尋ねる。また、千葉県市川市に自治会等を応援する条例がある。条例の検討はできないか。

答

町内会加入促進の取り組みについては、転入・転居届出時の加入案内チラシの配布や毎年11月・3月～4月にかけて加入促進キャンペーンの実施等を行っている。また、令和元年度に実施したアンケート調査の結果では、町内会費月額の高額は2,000円、最低額は200円であった。加入世帯数については、最小6世帯、最大1,563世帯(令和5年4月現在)である。市川市を含めた他市の事例や本市が抱えている課題を踏まえ、実効性のある内容を盛り込んだ条例を制定したい。



生活・環境

モスキート音について



朝長 英美 議員

市内にも猫よけなどを目的に猫などが不快に感じる高周波の音、「モスキート音」を発する機器が設置されているようだが、このモスキート音の人体への影響を問う。幼児・児童・生徒・若年層には不快な音であり、耳を押さえるぐらい影響があると言えるが、本市における状況を把握しているか。場合によっては、条例を制定するなどして対策を講じるべきではないか。

答

機器から発生する超音波については、人体や環境に無害だが、人によっては、特に若い方には不快に感じる場合がある。現在、機器の購入や設置に関し、規制や届け出などの義務はないため、本市の設置数などについては把握していない。市としては、今後、市内における相談の状況等を調査するとともに、市のホームページ等で猫よけ対策を紹介する際にこのような機器を使用する方に対し、設置場所等の注意喚起を行うなどの対応をしていきたい。





福祉・医療・保健

不妊治療と 仕事の両立について



堀内 学 議員

不妊治療への保険適用が令和4年4月から開始され、経済的負担が軽くなり、不妊治療を行う方も増える一方で、働きながらの治療は心理的にも時間的にも課題がある。厚生労働省が新設した不妊治療と仕事の両立に取り組む企業を認定する「くるみん制度」をいかに周知し、取り組んでいくか見解を求める。

答

本市においては、以前、長崎労働局からの依頼により、市政だよりに掲載して「くるみん認定」の周知を図ったことがあるが、育児・介護休業法の改正や不妊治療と仕事の両立の支援など、新たな認定の枠組みが創設されたことを踏まえ、市内企業へのPRについても、この制度の主管である長崎労働局と連携しながら、改めて周知を図ってきたい。



福祉・医療・保健

高齢者バス・タクシー券 の実現を求める



永山 真美 議員

これまでも、日本共産党に寄せられた市民の声を紹介しながら、繰り返し要求してきた。決して高齢者だけの要望ではなく、幅広い世代から実現を求める声は上がっている。市は、高齢者への交通支援について幅広い視野から協議を始めたということだが、高齢者バス・タクシー券の支給も含めた協議であると理解してよいか。

答

関係部署において、バス・タクシー券を支給してほしいという声があることも含めて、こういった形が市民の皆さまに利便性があり、より効果的であるか、コスト面も含めて検討を行っていきたいと考えている。



福祉・医療・保健

高齢者における 外出支援策について



小林 史政 議員

高齢者の外出支援について、大村市は交通費助成の導入を困難であるものとしている。そうであるならば、市として1度だけの交通費助成という方法ではなく、より持続可能で、市民の皆さまからの理解を得られるような方法を模索しなければならない。今までにない新たな手法を含め、外出支援策を検討すべきと考えるが、どうか。

答

これまで、路線バスと乗合タクシーを連結させる方法で、乗合タクシーのサービスを充実させ、より使っていただけるよう、可能な限り市として、各地区のニーズに対応してリニューアルしながら進めてきた。新たな手法を含めた公共交通を検討する中では、ボートレースとこなめが実施している市内循環バスの事例などを含め、市内の交通空白地の解消につながる方策について、協議を重ねていきたい。



福祉・医療・保健

新型コロナワクチン 後遺症について



南波 伸孝 議員

ワクチン接種による副反応や後遺症患者は日々増加しており、多くの国民・市民が苦しみや不安を抱えている現状がある。本市の副反応報告件数と予防接種健康被害救済制度の申請・受理件数について尋ねる。また、受理されるまでにかかった治療費等を一部負担する制度を設けている自治体もあるが、本市ではどうか。

答

本市で予防接種後健康被害救済の申請をされた方は14名、認定された方は5名である。副反応に関する相談については、全てを把握できていないが、予防接種後健康被害救済の相談をされた方は24名であった。また、予防接種後健康被害救済制度の認定が下りるまでの医療費の自己負担分や申請に係る文書費用について、市が負担することは行っていない。





産業・経済・労働

公共交通の利便性向上を！



竹森 学 議員

3月議会において、乗合タクシーの予約時間の短縮について業界と協議するとの答弁だったが、その後、どうなったか。また、中高生の帰宅時間でバスのない時間帯に乗合タクシーを増便することはできないか。

答

予約時間を30分間短縮することについて、運行事業者と協議を行ったところ、予約受け付け後、配車可能な車両を確定するまでに要する時間、配車車両から最も近い乗車場所で予約が入った場合の移動時間等を考えた場合、対応できないケースが出てくることから難しいとのことであった。少しでも時間短縮ができないか、引き続き、協議していきたい。また、朝夕の通勤通学など利用の多い時間帯においては、バスを運行しているため、乗合タクシーの拡充は難しいが、夕方の時間帯のバスのダイヤの調整等ができないか、バス事業者と協議していきたい。



福祉・医療・保健

ファミリーサポートセンター設置について



入江 詩子 議員

令和4年9月定例会における「既存サービスでの対応が可能なため設置の予定なし。」という市の見解について、シルバー人材センターでの育児サービスの実施件数、保育所等での一時預りの実施件数と人数を質問したところ、対応できていない現状が判明した。ファミリーサポートセンター設置に向けての今後の取り組み予定を問う。

答

ファミリーサポートセンターについては、既に県内の多くの自治体で設置されているが、本市においては、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した、しあわせ循環コミュニティ事業の地域共助事業の中で、アプリを活用して実施を検討している。今後、運営方法や設置場所、提供会員・利用会員の募集方法等について、実施に向けて検討を進めていく。



産業・経済・労働

ふるさとづくり寄附金の受け入れ額向上へ！！



中崎 秀紀 議員

ふるさと納税が可能な自動販売機の設置を進めているが、多くの方に旅先納税をしていただくには、新大村駅観光案内所ではなく、長崎空港が効果的でないかと考える。設置場所の見直しと、スマートフォンと連携した電子マネー等で、旅人が市内店舗で食事やお土産を購入できるようにするなど、市内経済の活性化にもつながってほしいが、市の見解を尋ねる。

答

長崎空港への設置については、特殊な自動販売機の設置により、操作説明やトラブルなどに対応する人員配置ができないため、難しいとの回答をいただいている。課題を解決しながら再度説明を行い、交渉を続けていきたい。また、旅先納税について、今回導入する自動販売機のタブレット端末等で応用ができないかも含め、観光客などが「大村市にふるさと納税をしたい」と思った瞬間を逃さないような方法をさまざまな角度から調査していきたい。



産業・経済・労働

農業行政における用排水路について



朝長 英美 議員

近年、特に竹松・福重地区においては、新興住宅地化が急速に進んでいる。水田の宅地化に伴い、農業用水路が一般家庭の排水路としても利用されているにもかかわらず、あぜの除草など、その管理については、少数の農家だけで行われている。市として、地区内住民で協力して管理することを奨励すべきではないか。

答

住宅から排水される雨水等を農業水路へ流す場合、各農業用水の水利関係者から同意が得られれば、接続を認めている。農業用水路の維持管理については、市の支援制度を設けているが、排水路については、従来から地元でご利用の皆さまによる維持管理をお願いしている。引き続き、このような形でお願いしたいと考えているが、農地の宅地化が進んでいるという社会情勢の変化もあることから、今後、水路に関係する各部署と情報共有をしながら管理方法について協議していきたい。



産業・経済・労働

県営バスの運行時間の改正について



松尾 祥秀 議員

三浦（釜川内）路線の減便がひどく、午前中、病院に行き、午後の便で帰ることができなくなった。バスと乗合タクシーの連絡が分かりにくく、不便である。もっと簡単に利用できるように改正できないのか。

答

今村から大村ターミナルまでの路線バスについては、令和2年3月に策定した大村市地域公共交通再編実施計画に基づき、令和3年4月1日からバスの利用が少なかった昼間の時間帯において今村から久原の区間をバスからデマンド型乗合タクシーへ変更している。変更前の昼間の時間帯のバスの便数は、2、3時間に1便の運行という状況であったが、乗合タクシーの運行により1時間に1便の間隔で運行することとなっている。

また、ルートについても、近隣の商業施設への乗り入れを可能にするなど、利便性の向上も図っている。



産業・経済・労働

高速バス大村インターバス停について



田中 秀和 議員

たびたび多くの議員から改善が訴え続けられている大村インター高速バス停の課題について、現状では抜本的な解決には程遠いと思う。市単独でエレベーター棟の設置を検討してはどうか。予算等の調査をしたことはないのか。また、バス停の根本的な対策ができないのであれば、バス停を思い切って新大村駅へ移転してはどうか。

答

2016年ごろに調査したエレベーター設置に係る費用の試算は、約6,000万円から7,000万円であった。当該バス停に関しては、高齢者や障害があらわれる方に対し、何らかの対応策を打たなければならないと考えており、コスト面も含め、さまざまな方策を検討していきたい。また、以前、バス事業者に対し、高速バスを下の平場で乗降させる要望を行い、断られた経緯があるが、現在、新幹線が開業するなど市内の状況も変わっているため、改めてバス事業者や関係機関に働きかけをしていきたい。



教育・文化・スポーツ

時代に合わない生徒指導への対応は？



村崎 浩史 議員

文部科学省は12年ぶりに「生徒指導提要」を改訂した。教育現場における指導の在り方はどのように変化するのか。市教委としてどのような対応をされたのか。過去には、制服のインナー（肌着）の色を確認する指導があったことを卒業生から確認している。今後はこのような、時代に合わない指導は行われたいと考えてよいのか。

答

生徒指導提要は、小学校から高等学校までの生徒指導の理論、考え方、指導方法まで生徒指導に関することの基本書となっている。今回の改訂に伴い、改訂の趣旨等を含め、各学校へ通知するとともに、研修会等を通じ、生徒指導の在り方について見直すよう指導したところである。また、議員が指摘されたようなことについては、県や国の通知もあり、人権に配慮するという点からも現在は改善されている。



産業・経済・労働

琴平岳文字をハリウッド張りにし、地方創生を



高濱 広司 議員

空港にNAGASAKIの文字があり、琴平岳に大村の文字をと職員が素晴らしい発想をした。残念ながら、ひらがなで判別できない。ハリウッド張りの看板に改め、周囲にアジサイやラベンダーなど開花時期が異なる花を植え、心臓破りの坂マラソン、パラグライダー大会などを開催すれば格好のシティプロモーションになる。

答

面白い提案だと考える。今後、どのような形で自然を生かしたシティプロモーションが実施できるのか、琴平スカイパークや大村公園、野岳湖公園などのリニューアル計画を検討していきたい。また、大村市は花のまちということで、大村公園をはじめとする市内の公園において、年間を通して花が咲き誇り、楽しめるよう、現在、プロジェクトチームを設置し、検討を重ねているところである。



教育・文化・スポーツ

いじめ防止のための 保護者の協力体制を



高見 龍也 議員

令和2年4月に大村市教育委員会から出された「教職員の働き方改革の方針」に「地域ボランティア等の協力による児童生徒の休み時間における対応の検討」とあるが、進捗状況はいかがか。特に、いじめ防止のために保護者の協力を仰いで昼休みに児童・生徒を見守り、声をかける制度を早急に導入していただけないか。

答

本市における働き方改革の取り組みの1つである地域ボランティア等の協力による児童・生徒の休み時間における対応については、令和2年度からの3年間、コロナ禍にあったため、学校では外部の方々のご協力をお願いすることを控えていたことから、進んでいない状況である。現在、各学校区でコミュニティスクールの取り組みを進めているため、今後、その取り組みと併せて進めていきたい。



教育・文化・スポーツ

(いわゆる)ブラック校則 について



高見 龍也 議員

以前、玖島中学校で女子生徒の100%と、アンケートに回答した保護者の約90%が女子生徒の冬場のカーディガンなどのセーラー服の上からの防寒着の着用を希望したにもかかわらず、校長に拒否されたことがある。極論ながら、生徒、保護者の100%が変更を希望した校則を校長が拒否することは合法か違法か。今後も校長決裁のままなのか。

答

議員ご指摘の合法かどうかについては、具体的な法などがなかったため、この場での回答は控えさせていただきたい。校則は、特に法令上は規定されていない。社会通念上、合理的と認められる範囲において、教育目標の実現という観点から、校長が定めるものと定められているので、それに従っていくべきだと考えている。



教育・文化・スポーツ

教育の急速なデジタル化 の悪影響へ対応を!



光山 千絵 議員

GIGAスクール構想はメリットもあると思うが、過度なICT機器の利用はネット・ゲーム依存など児童・生徒の心身にさまざまな悪影響を及ぼすことが指摘されている。人を育てる教育現場では何でもICT化するのではなく、人の触れ合いや実際に物事に触れるなど、ぬくもりのある教育がさらに大切になると考えるが、市の見解を尋ねる。

答

教育現場のデジタル化については、日常生活のさまざまな場面でICT機器を用いることが当たり前となっている子どもたちにとって機器を適切に活用する能力を身に付け、情報社会に対応していくことが重要ではないかと考える。各学校においても、さまざまな情報を適切に活用する能力を育むとともに、情報モラルや情報セキュリティ等の能力も高め、健康面にも十分配慮しながら、ICT機器の活用につなげていきたい。



教育・文化・スポーツ

昆虫食(食用コオロギ) について



南波 伸孝 議員

将来の食糧危機に備えて、タンパク源の選択肢の1つとして注目されつつあるが、昆虫食は未だ完全に安全が保障されているわけではない。国内でも乾燥コオロギ粉末を調理して教科活動の中で、給食として提供した学校がある。今後、県内に広がりを見せたときに食用コオロギを学校給食に取り入れる可能性はあるのか尋ねる。

答

学校給食の大きな目標の1つは、適切な栄養の摂取による児童・生徒の健康の保持増進を図ることであり、その献立は、児童・生徒に広く受け入れられ、食べてもらえるものである必要がある。現状において、昆虫は各家庭で一般的には食べられておらず、食材としての認識は浸透していないものと考えられ、学校給食の食材として昆虫を使用した場合、多くの児童・生徒から強い拒否感が出ることは十分に予測される。したがって、現時点で学校給食の食材に昆虫を取り入れることは考えていない。



教育・文化・スポーツ

不登校等の児童・生徒支援について



入江 詩子 議員

ひとり親家庭で子どもが不登校になった場合、親の就労に影響を与え、経済的困難を抱える事例を聞いており、子どもが自力で通える多様な居場所を増やす必要がある。文科省COCOLOプランに示されている、不登校児童・生徒が学びたいと思ったときに学べる校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）の現状と課題を問う。

答

現在、校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）という名称の教室の設置はしていないが、各学校はその状況に応じてサポートルームあるいは相談室などの名称で、なかなか教室に入れない児童・生徒が一定の時間を過ごす場所を学校の努力と工夫で設置している状況である。課題としては、相談室等の個別の対応から学級集団に戻ることに不安などもあり、各学校では個に応じた対応を工夫している。



教育・文化・スポーツ

小中学校の家庭の日の柔軟な対応について



里脇 清隆 議員

小中学校で第3日曜日を家庭の日としてスポーツ大会への出場も禁止している。大村市には大会を開催できる体育館はシーハットおおむら1つしかなく、子どもたちの大会が開催できなくなっている。県によると、家庭の日は強制ではなく、標準となっており、対応は各自治体の判断に任せているとのことで、教育委員会の柔軟な対応を求める。

答

県教育委員会からは、「学期中は過当たり2日以上は休養日を設けること。その場合、平日は少なくとも1日、土曜日および日曜日は少なくとも1日以上とし、家庭の日は活動を実施しない日と位置付けること。その際、休養日や家庭の日に大会参加等で活動をした場合は、翌日曜日より連休最終日を休養日とするなど、休養日を他の日に振り替え、適切に休養日を設定する。」という方針が出されている。本市においても、県に準じた取り扱いを行っている。



都市整備

都市計画道路の計画変更について



久保 和幸 議員

都市計画道路の計画変更や新設・廃止を含め、都市計画の見直しはどのような時期に行われてきたのか。市民からの意見聴取や周辺住民への説明会は実施したのか。古賀島沖田線、沖田工区の今年度からの事業計画と用地買収や工事の具体的な時期はいつごろとなるのか。今年度、実施設計を基に地元住民へ説明会は実施するのか。

答

都市計画の見直しについては、社会情勢や関連計画など本市を取り巻く情勢の変化を踏まえ、おおむね10年ごとに行っている。見直しに当たっては、幅広い周知・意見募集を行い、意見交換会や説明会を実施している。古賀島沖田線の沖田工区については、今年度から道路の詳細設計、用地測量、来年度には土地評価、物件調査を実施予定のため、地権者の方と用地協議を早ければ令和6年度末から、工事着手を早ければ令和8年度からと予定している。また、年度内に詳細な計画図面による地元説明会の実施を予定している。



都市整備

歩行者、生活者に優しく、自転車が走行しやすい道路整備を



中崎 秀紀 議員

市道西三城杭出津線は街路樹の影響で歩道に凸凹があり、歩きにくく、高齢者や障害がある方にとっては外出が阻害されている。また、自転車も歩道を通行するようになっているが、車道を走行せざるを得ない状態で大変危険である。重要路線であることから、自転車活用推進計画の見直しと道路の整備計画を進めることを要望する。

答

当該路線については、既に自転車歩行者道が整備されているが、自転車の利用状況や現状の歩道幅員を踏まえ、今後、矢羽根の設置による整備ができないか、自転車活用推進計画の見直しを警察と協議を行いながら検討していきたい。また、街路樹の多くは植栽後、相当な年数がたっており、街路樹の老木化や根上がりは今後も進行していくことから、市としても整備計画の策定が必要であると認識している。しかしながら、道路の整備には多額の事業費を要することから、国の補助金等を活用した道路整備が実施できないか検討していきたい。





都市整備

市道の地域委託での 草刈りについて



山口 弘宣 議員

現在、燃料費高騰が続いている中、メーター幾らで決められた委託費の中に含まれる燃料代が委託先の負担増となっているので、単価の増額を図るべきと思うが、市の見解を問う。また、高齢化等により、地域住民の協力による草刈りが困難なところが見受けられるようになってきたが、将来的な対処策についてどのような見解であるか問う。

答

適正な市道の維持管理ができていないことに
対し、地元の皆さまには大変感謝をしている。
草刈り委託単価については、昨今の燃料費高騰や地区
からのご要望を受け、今年度から単価の見直しを行った
ところである。地元草刈りについては、作業されている
方々の高齢化に伴い、草刈り作業が困難になってきたと
いう相談を受けることから、市としては、地区の皆さま
のご意見を伺いながら、今後の地元草刈
りの実施方法や委託範囲等について最
適な方法を検討していきたいと考えてい
る。



都市整備

森園公園のトイレの 改修の実施について



山口 弘宣 議員

3月から5月にかけてサーカスが実施され、利用頻
度が上がっていたこともあり、トイレが汚い（特に女
子トイレ）との報告を受けているが、森園公園は空の
玄関口でもあり、市内の公園の中でも利用頻度が特に
高い施設でもあるので、もっときれいな状態であるべ
きと思うが、市の見解を問う。

答

3月から5月の期間は清掃の頻度を普段より
増やしていたが、利用者が多い時間帯には不快
な思いをされたこともあったのではないかなと思う。また、こ
のトイレは古く、床が土間の洗い出し仕上げということも
あり、清掃直後や雨天時などの濡れた状況のときには汚
れて見えることもあるようである。今後の改修については、
新庁舎建設に伴う新たな市民プールの移転計画もあるこ
とから、それまでの対応として、トイレの一
部洋式化や建具の張り替え、床が汚れて見
えないよう、樹脂塗装を行うなど、トイレの
イメージアップに取り組んでいきたい。



都市整備

琴平岳への市道整備と 公園の利用について



松尾 祥秀 議員

琴平岳に登る市道が狭く、離合できないので、不便
で危険である。離合できるように拡幅してもらいたい。
また、公園内のパターゴルフ場をグラウンドゴルフ場
としても利用できないか。

答

市道琴平岳線延長約860mのうち、ス
ムーズに離合できる道幅（5m）を確保され
ていない区間が3カ所、延長約100mあった。側溝へ
蓋を設置することで道路幅を確保できることから、
道路幅の狭い箇所から順次側溝蓋の整備を進めて
いきたい。また、パターゴルフとグラウンドゴルフを併
用して利用するには、利用日時の区分や利用料金な
どを整理する必要がある。現状、平日などの利用が
少ない日も見受けられることから、パターゴルフでの
利用促進を図るとともに、グラウンドゴ
ルフなどの活用も含め、現状のニーズ
に合った利用方法を指定管理者と協
議・検討していきたい。



都市整備

野岳湖公園の リニューアルについて



堀内 学 議員

大村市独自のアウトドアランドデザイン策定との整
合を図りながら実施に向けて取り組んでいくとのことだ
が、オートキャンプ場の設営、駐車場の新たな区画レイ
アウトでのラインの改修・改善、ペダルボートの復活等、
あるものを生かした自然豊かな人が集まる場所となるよ
うに整備・計画を要望するが、市の見解を求める。

答

オートキャンプ場については、現在のニーズ
を踏まえた野岳湖公園全体のリニューアルの
中で整備に向けて取り組んでいく。また、駐車場につい
ては、舗装の老朽化も進んでいるため、リニューアルの
際には駐車枠の見直しも含めて改修が必要があると
考えている。また、ペダルボートについては、施設の老
朽化によりかなり損傷しており、現状での運用は不可能
と判断している。しかし、野岳湖水面の活用については、
関係者との協議が必要であるが、例えば、
カヤックやSUPなど、野岳湖アクティビ
ティの実施に向けて研究していきたい。



行財政・一般

大学誘致について



水上 亨 議員

本定例会の補正予算に大学等誘致推進事業として調査等に係る業務委託費845万円が計上されている。少子化が進み、全国的に大学運営の厳しさが増す中、新設する大学はあるのか危惧する。どのような大学を誘致したいのか、誘致する場所、経済効果等、市として基本的な考えを示した上で、調査・研究の業務を委託するのか。

答

まず第一には、学生が集まる大学・学部を誘致すべきであると考えており、業務委託の中で、国の動向や他自治体での状況等の情報を集め、一定の考え方を取りまとめた。また、場所については、大学の規模や学生数、必要な施設等により異なるが、現庁舎跡地やポート第5駐車場、市民体育館跡地、現上下水道局周辺などは一定の広さがあるため、候補地となることは考えられる。経済効果についても、同様の理由により、現時点では算出することは困難であると考えている。



都市整備

新幹線駅前の開発とまちづくりについて



小林 史政 議員

本市における新幹線開業の経済効果をどのように分析しているのか。また、新駅前の開発については、先日、起工式が開催され、具体的な事業内容が公表された。市民の関心も高まっていると思うが、新幹線の経済効果をどのように取り込むのか。さらに、9月には開業1周年記念イベントも開催されると思うが、その内容についても尋ねる。

答

開業後、現時点の経済効果については、算定の基礎となる新大村駅の利用客数が8月下旬ごろに公表される予定のため、算定に至っていない。駅前開発による経済効果については、マンション建設に伴う定住促進や商業施設の設置による市民税や法人税の増収、市有地の民間事業者への売却による固定資産税の増収などが考えられる。開業1周年を迎える9月23日には、東口（さくら口）前において、西九州新幹線沿線5市による特産品を販売するマルシェの開催や観光PRを実施する予定としている。



行財政・一般

誰もが気軽に投票できる環境整備を



竹森 学 議員

高齢者や障がい者が投票する際、手助けが必要なときに使用する投票支援カードを導入する自治体が増えている。「投票用紙に代わりに書いてほしい」などの希望する項目にチェックして係員に渡すことでスムーズに投票できるもので、誰もが気軽に投票できる環境整備の一環として本市も導入を考えてはどうか。

答

投票所においては、投票しやすい環境づくりに努めているところである。投票するに当たり、不安があらわれるような方については、事務従事者から声をかけさせていただき、代筆等の必要な支援を行っている。しかしながら、投票に不安のある方が少しでも投票しやすくなるように、議員ご提案の投票支援カードについては、準備ができ次第、導入していきたい。



行財政・一般

モーターボート競走事業、経営の状況は



水上 亨 議員

3年連続売り上げ日本一を達成されたが、業界の調査によると、今年になり、全国的に売り上げの落ち込みが見え始めている状況である。ボートレース大村では、新たに諫早市に場外発売場を設置するなど、売り上げ向上に向けた取り組みを計画されているようだが、今後の見通しを尋ねる。

答

業界全体としては、ダウントレンドとなっており、予断を許さない状況と見ているが、ボートレース大村では、ミッドナイトレースの開催日数を拡大させたり、さらに、8月以降、10分程度時間を繰り下げるよう計画している。また、1月には、プレミアムGI第5回ボートレースバトルチャンピオントーナメントの開催、そして、新たに諫早の場外発売場を開設するなどの取り組みを行い、しっかりと売り上げを確保していきたいと考えている。



行財政・一般

環境センター火災後の ごみ処理と復旧



晦日 房和 議員

令和3年4月15日に環境センターで火災が起こって2年がたつ。3焼却炉の制御機器が破損し、全ての焼却炉は運転停止となった。しかし、その翌日からごみ収集も行われ、市民にとって大変ありがたいことだった。搬入されるごみの処理に職員はどう対応したのか。また、復旧・ごみ処理の経費、および国からの交付税についても尋ねる。

答

搬入されるごみの処理については、長崎県内8カ所、佐賀県内7カ所のごみ処理施設に、積み込み・運搬については、県内の3つの団体にご協力いただいた。焼却施設の復旧工事等の費用は、約4億4,200万円、他市等処理施設でのごみ処理費用が約8億600万円、その他費用が約3,400万円、合計約12億8,200万円である。また、特別交付税については、市外でのごみ処理等にかかる費用の8割が算入され、令和3年度に約2億5,000万円、令和4年度に約1億7,000万円が算入されている。



行財政・一般

パートナーシップ制度の 導入は、いつごろか



永山 真美 議員

本市は、性的マイノリティへの理解促進として、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入を検討中であるが、具体的な導入時期のめどは立っているのか。また、ファミリーシップ制度については、導入時点でどこまでの対応をする予定としているか。

答

パートナーシップ制度の導入については、今年の10月ごろを予定している。また、ファミリーシップ制度の具体的な内容についてはまだ決定していないが、例えば、母子手帳の交付や保育所の利用申請などが考えられるため、このようなものについて、現在、庁内で検討を進めている状況である。



行財政・一般

現在の財政状況、 中期財政見通しについて



久保 和幸 議員

各種財政指標を基に財政状況を分析されていると思うが、現在、健全な財政運営ができていないのか。経常収支比率が高いということは財政状況は硬直化していないのか、その要因は何か。中期財政計画における起債残高、基金の見通しはどうか。新庁舎や環境センターなど大型事業の事業費やその財源の内訳はどうなっているのか。

答

財政力指数は、令和3年度0.63と県内13市の中で財政力が一番高く、経常収支比率は、令和3年度92.7%と県内13市の中で弾力性が一番低くなっている。これは、社会保障費の増加が要因の一つと考えている。また、起債残高は、ポート基金を活用し、交付税措置のない市債の借り入れをしないよう計画しているため、横ばいとなっている。令和5年度以降の大型建設事業費は約363億円、財源内訳は国や県の支出金57億円、地方債109億円、一般財源が197億円と見込んでいる。



行財政・一般

大村の若者支援をどうする？



村崎 浩史 議員

大村市出身の学生を支援する「大村～つながるプロジェクト」の実績と本事業の評価検証について確認させていただきたい。本事業は、高校を卒業し、県外に転出した学生と関係性を維持・構築できる意義深い事業である。大村出身の若者を支援する取り組みは、今後も必要だと考えるが、どのように考えておられるのか。

答

これまでに計4回実施し、第1弾784人、第2弾789人、第3弾714人、第4弾700人に大村産品を送付している。また、その後も県外在住の学生と継続的につながりを持つため、LINEグループへ登録を依頼し、現在、333名に登録していただいている。今年度は、大村産品を送るという形ではなく、例えば、日本橋長崎館での物産販売会などに手伝いに来ていただき、お礼として大村の産品を差し上げるようなことも考えられる。その際に、意見交換会を行い、若者のいろいろなアイデアを聞き、実行に移していきたいと考えている。



 行財政・一般

郷土の歴史教育について



永尾 高宣 議員

日本における障害者の福祉と教育の草分けの人物として偉大な功績を残した「無名の人」石井筆子のドラマ化脚本の制作について、諫早市出身の作家垣根涼介氏に依頼してはどうか。また、全国では7番目、九州では最も古い、大村藩の教育の中心であった藩校「五教館」の知名度アップについて、どのような事業を計画しているか尋ねる。

答

原作小説の制作は非常に重要なことであると考えている。先般、ノンフィクション作家の石井妙子氏が著書「近代おんな列伝」の中で石井筆子を取り上げている。このようなことも含め、今後、ドラマ化につながるよう、さらに積極的に活動を続けていきたい。また、五教館に係る資料の常設展示や企画展の開催などを通じ、五教館が人材育成に果たした功績の大きさ、出身者の活躍などについて、広く市民の皆さんに知っていただくように今後も取り組んでいきたい。



 行財政・一般

大村工業での中高一貫教育の再検討について



永尾 高宣 議員

長崎県内で中高一貫教育を採用している高校は3校、工業高校の中高一貫校は日本全国で唯一秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校である。大村工業の中高一貫教育について、以前は長崎県知事要望として掲げていたが、現在は取り下げている。教育に対する考え方は時代とともに変わる。再度、県に対して要望を取り上げられないか、行政の見解を尋ねる。

答

大村工業高校への併設型中高一貫校の設置については、平成28年度から県への要望を行っていたが、県から、小学校6年生時点で工業系の高校進学を前提とした選択は難しいこと、施設や教職員の配置費用が必要となることなどの理由から、設置は困難であるとの回答が続いたため、令和4年度からは要望を行わないこととした。なお、県からは、大村工業高校の在り方を市とも意見交換しながら検討していきたいとお話をいただいております。今後、県の動向を注視していきたい。



 行財政・一般

不測の事態にも
耐え得る財政運営を！



光山 千絵 議員

本市はポート基金から順調に繰り入れが行われてきたが、経常収支比率が県内の市で最も悪い状況であり、非常に財政悪化が進んでいる。今後、予定されている大型建設事業でさらに財政運営は厳しくなるが、市は新たに複数の大型建設事業の検討を始めた。これらの建設事業全てを行うことは到底不可能と考えるが、市長の見解を問う。

答

建設が決定しているものについては、その都度事業費を見直し、財政運営のシミュレーションを行っている。また、新たな文化ホール、第2体育館、武道館等についても、具体的に建設の時期や規模、内容、事業費が分かった時点でシミュレーションを行う。なお、事業実施決定のプロセスにおいては、財政状況を勘案しながら決定していきたい。また、現在、計画している事業をしっかりと進めていくため、さらなるポート事業収益の確保や遊休地の売却、事業見直しなどによる新たな歳入確保、歳出の削減などに努めたい。



 行財政・一般

公共施設等の安全点検と
整備について



古閑森 秀幸 議員

シーハットおおむらのメインアリーナから2階観覧席に移動する階段に手すりがなく、高齢者等の利用には大変危険である。早急に安全対策として手すりの設置を要望する。また、その他の公共施設も再度点検をお願いしたい。

答

シーハットおおむらメインアリーナの内階段については、指定管理者と直ちに対応を協議し、速やかに手すりを設置することとし、発注している。既に工事に入っており、今週中には設置が完了する見込みである。





行財政・一般

基本構想を廃し、
総合計画を充実せよ



高濱 広司 議員

基本構想の策定は、かつて地方自治法で義務付けられていた。現在は、条例で議決すべき事件となっている。本市の総合計画は、基本構想と基本計画の2層で構成しており、期間は10年間と長い。思い切って抽象的な基本構想を廃し、総合計画は基本計画と実施計画の2層に改め、期間も5年以下とする独自の総合計画に改めるべきだ。

答

議員からご提案があったように、他自治体の例も参考にしながら、総合計画と一体的に策定することや、基本構想、総合計画の内容などについて、今後、検討していきたい。



行財政・一般

歳入歳出のバランスの
取れた財政計画を



里脇 清隆 議員

財政健全化計画を経験した本議員は現在の予算の組み方に不安を覚える。毎年、財源不足をボート事業の収益で補い、本年度も36億円一般会計に出している。ボート事業の収益金は今後の大型事業のために確保しておくべきもので、本来は税収に見合う歳入の範囲で財政計画を立てるべきだと考えるが、市の方針を尋ねる。

答

市民の皆さまから要望いただく事業を実現するためには、歳出削減は難しいところまで切り詰めており、歳入確保をしなければならないことから、市長に就任させていただいた際のマニフェストにボートレース事業のナイターレース導入とSGレースの誘致を掲げ、現在、ボートレース事業の収益金を確保できていると思っている。モーターボート競走事業収益基金については、使途を公共施設等の整備等に限定して活用しながら、今後も持続可能な財政運営をしっかりと進めていきたい。



令和5年度の
市民と議会のつどい「語ってみゅーか」を開催します

語ってみゅーかとは？

大村市議会の議員が4班に分かれ、市内8地区で開催する議会報告会です。
市政の課題や議会の活動状況などを報告するとともに、皆さまからのご意見・ご要望をお聞きます。
どなたでもご参加いただけます。お気軽に足をお運びください！

日時・会場

時 間	場 所	班
11月16日 (木) 19:00～	萱瀬住民センター	1
	鈴田住民センター	2
	市コミセン会議室	3
	松原住民センター	4
11月17日 (金) 19:00～	竹松住民センター	1
	三浦住民センター	2
	中地区公民館	3
	福重住民センター	4

班の構成

(1班)	光山・堀内・水上・村上・竹森・南波 各議員
(2班)	山口・晦日・田中(博)・里脇・中崎・入江 各議員
(3班)	松尾・朝長・田中(秀)・高濱・小林・高見 各議員
(4班)	村崎・久保・古閑森・永山・永尾・中村 各議員

各議員が通告した質問項目は以下のとおりです。

○水上 享

大学誘致／市施設廃止後の跡地計画／移住・定住促進事業／企業誘致／中学校部活動改革の取り組み／不登校対策／モーターボート競走事業の経営状況／諫早市の場外発売場／他

○竹森 学

投票率向上に向けての取り組み／指定避難所の備蓄品／接種可能なHPVワクチンの種類、男性への接種／乗合タクシー利便性向上と運行便数拡充、公共交通空白地域に対する本市の考え方／他

○永山 真美

高齢者バス・タクシー券の実現／ひきこもり支援／パートナースHIP制度の導入時期／つながりサポート事業の今年度の取り組み、事業の継続／他

○晦日 房和

5類移行後のコロナウイルス感染症、感染者数の把握、医療費、ワクチン接種／指定避難所でのコロナ感染対策／大村出張所の配置、環境センター火災と復旧、来年度の北部九州インターハイ／他

○村崎 浩史

大村市のこれからのグランドデザイン／部活動の地域移行の進捗状況／高速バス利用者向け駐車場の利用状況と改善／保育士確保策と保育士の業務負担軽減策／他

○朝長 英美

防犯カメラ／モスキート音／防災公園／用排水路問題／担い手対策／耕作放棄地／農道管理／他

○中崎 秀紀

誰もが生活しやすい道路整備・西三城杭出津線歩道、自転車道整備要望／中学校新制服の価格および移行期間の要望／ふるさと納税額向上への要望および提案・新大村駅観光案内所活性化要望および提案／他

○高見 龍也

市内教職員から教育委員会への相談、提案などの方法／（いわゆる）ブラック校則／教員のなり手不足／いじめ防止のための保護者の協力体制／教職員の働き方改革／他

○久保 和幸

財政状況、中期財政見通し、起債残高、基金、大型事業／保育料の無料化と入所要件の緩和、保育士の確保対策／都市計画道路計画変更の内容、市民からの意見、古賀島沖田線、沖田工区の進捗状況／他

○山口 弘宣

高齢者への交通費助成／電話による詐欺撃退機（通話録音式）の増台／かんさく会館で実施されている「ふれあい事業」／古賀島にある多目的スポーツ広場／他

○堀内 学

インバウンド政策、グリーンツーリズム推進、海外向けの情報発信／不妊治療の相談窓口や対応、不妊治療を受

けやすい環境づくり／アウトドアグランドデザインの進捗状況、萱瀬スギ周辺整備／他

○田中 秀和

老人クラブの強化と支援／相続登記義務化の告知と市の対応／条例等の名称の工夫／職員の資格取得への支援強化／土曜学習応援団の活用推進と学校教育における民間等協力団体の積極的な活用／他

○松尾 祥秀

議案に関連して4項目／琴平岳公園への市道整備と公園の利用／県営バスの運行時間の改正／他

○南波 伸孝

5類変更後の小児コロナワクチン接種、予防接種健康被害救済制度、子どものマスク着用状況／不登校児童・生徒数の推移と要因、フリースクール等の連携と支援／昆虫食の現状と今後の学校給食／他

○永尾 高宣

久原駅の新設／小姓小路踏切の改良／中鉢鮮魚店のところの交差点道路改良／人口減少・少子化対策／真珠研究所跡地の公園化／旧最終処分場跡地活用／新たな工業用地造成／他

○古閑森 秀幸

黒丸運動公園の多目的広場の整備／言泉寮跡地の再利用／自治体キャラクターおむらんちゃんの商標使用／交通安全協会の支援／公共施設等の安全点検と整備／他

○光山 千絵

市の財政状況と今後の見通し、健全財政のための事業見直し／不登校児童・生徒支援、フリースクール等民間の活用策／児童のネット依存対策、GIGAスクール構想の健康への影響、読書活動のさらなる推進／他

○小林 史政

大村市の少子化対策／高齢者の外出支援／新幹線を生かしたまちづくり、新駅の開発、にぎわいの拠点としての役割、1周年記念イベント／市内公園および小学校のトイレ／他

○里脇 清隆

大村市の財政状況／地場企業の育成／市庁舎建設基金／部活動の地域移行への取り組み／大村市体育文化センターの改修とメンテナンス／防災センターの建設／他

○高濱 広司

投票率の推移と分析／投票率の向上／定年延長制度と人材活用等／人材育成と研修／組織風土と働き方／地方創生の取り組み状況等／歴史紹介の拠点／他

○入江 詩子

子育て支援（こども基本法、ファミリーサポートセンター設置、不登校等の児童・生徒、子どもの事故防止）／障害者支援（一般就労への取り組み）／他



市内公共施設を視察しました

7月5日に新人議員研修の一環として、ミライonやこども未来館おむらんどなどの市内公共施設の視察を行いました。学校給食センターでは小学校給食の試食を行いました。



ミライon視察の様子



おむらんど視察の様子

9月

令和5年9月定例会の予定

5日(火) 10時

- 本会議（議案審議・委員会付託）
- 一般会計予算決算委員会全体会（付託案件分担協議）

7日(水)・8日(金) 10時

- 本会議（市政一般質問）

11日(月)～13日(水) 10時

- 本会議（市政一般質問）

14日(木)・15日(金) 10時

- 委員会（議案審査）
- 一般会計予算決算委員会分科会（分担事項審査）

19日(火)・20日(水) 10時

- 委員会（議案審査）
- 一般会計予算決算委員会分科会（分担事項審査）

21日(木) 13時

- 委員会（議案審査）
- 一般会計予算決算委員会分科会（分担事項意見集約）

27日(水) 10時

- 一般会計予算決算委員会全体会（分担事項審査報告・付託案件採決）

29日(金) 10時

- 本会議（議案審議・委員会審査報告・採決）

※定例会の予定(日時等)は変更となる場合があります。
※8月31日(木)の議会運営委員会で決定します。

市議会だより編集後記

改選後の初めての議会で、新人議員の新鮮な視点と情熱によって、私たちは既存の枠組みにとらわれずに、より多角的な視点から課題に取り組むことができました。彼らの意見と提案は、議論を豊かにし、政策の改善に寄与しました。この議会活動を振り返る貴重な機

会を通じて、私たちはさらなる成長と発展の可能性を見いだしました。進むべき道はまだ遠く、困難も多いでしょうが、信頼と連携を築きながら、より良い社会の実現に向けて努力を続けます。市民の皆さまのご支援に心から感謝し、今後も充実した議会活動をお約束いたします。皆さんと協力し、より良い未来のために前進していきます。

(古閑森 秀幸)

広報委員会

- 委員長 水上 享 ●副委員長 古閑森 秀幸
- 委員 久保 和幸 光山 千絵 高濱 広司 田中 秀和 田中 博文 村上 秀明

この広報紙は



環境に配慮した植物油インキを使用しています。



可読性の良い書体を使用しています。

市政一般質問や定例会の内容など、もっと詳しく知りたい方は大村市議会のホームページをご覧ください。

大村市議会

検索



編集・発行 大村市議会

大村市玖島1丁目25番地 ☎52-3828